



## がんばるといふこと

校長 合田 伸太郎

1月14日、野球殿堂博物館は今年の殿堂入りを発表し、そのうちの一人として、中日ドラゴンズ一筋で通算219勝を挙げた山本昌さんが選出されました。

山本昌投手が32年間のプロ野球生活に幕を下ろしたのは、彼が50歳のときでした。平成27年10月7日、マツダスタジアムで行われた広島戦、打者1人だけの限定先発登板。カープの1番打者丸佳浩選手（当時26歳）をスクリーンボールでセカンドゴロに打ち取り、涙を流しながらマウンドを降りました。

子どもたちのなりたい職業ランキングが様々な調査から発表されますが、どの調査においてもプロスポーツ選手は最上位に位置していますし、その中でもプロ野球選手は常に子どもたちのあこがれの職業としてランキングされています。ごく限られた人しかなれないうえに、あるデータでは、日本のプロ野球選手の平均選手寿命は約9年で、平均引退年齢は約29歳といわれ、第一線で活躍できる時期がたいへん短い職業です。このことだけをとっても、山本昌投手が32年もの間プロ野球の選手であり続けたこと、しかも50歳までチームの戦力として必要とされ続けたことが、どれだけすごいことか想像できると思います。



引退前の数年間、山本選手には「現役最年長」という枕詞がついてまわりました。しかし、ウォーミングアップひとつとっても、若手と同様のメニューを同じ数だけ黙々とこなしていました。「基本となるものをとにかく変えずに続ける。その積み重ねこそが、長く現役でいることができた理由だ。」と入団当時から指導してきたコーチは語っています。

一方で、山本投手は、進化し続けることを自分自身の目標としていました。体力は年齢とともに落ちていきます。プロのトップレベルを維持するために、常に大胆に変わらなくてはならないと考えていました。グローブの位置やヒジの高さ、踏み出す足の幅など毎年のようにフォームを改良する。新しい球種を身に付ける努力をする。そんな探求心が、山本投手のプロ野球選手としての生活を支えていたのだと思います。

山本選手は、「自分には大した才能がない」と言っています。そんなはずはありません。山本選手は突出した才能の持ち主でした。それをよく表している彼自身の言葉がありますので紹介します。

「トレーニングをすることは全く苦にならないから。僕はね、無理な努力はしないの。キャッチボールとかウエイトとか、地味な練習を続けることは得意なんだよ。」

この言葉や彼のこれまでやってきたことから「がんばるといふことは地道に続けることだ」という強いメッセージを感じています。

## 輝く個性 ～全校生でいじめ0の桜町中を～

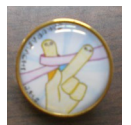


生徒会朝会において、「いじ滅メンバー」募集のお知らせが生徒会役員からありました。

1. いじめをしない（加害者にならない）
2. いじめをさせない（傍観者にならない）
3. いじめを許さない

上記の3点を約束し、いじ滅バッジを標準服に付けて学校生活を送ります。

いじめを許さない態度を身に付けるためには、いじめはよくないという知的理解だけでは十分ではありません。実際にいじめを許さない雰囲気醸成された学校、学級で生活することで、いじめを許さない人権感覚が身に付くと言われています。多くの生徒がいじ滅バッジを付けることは、その雰囲気づくりの一助となるはずです。



HP上では写真は割愛させていただきます。

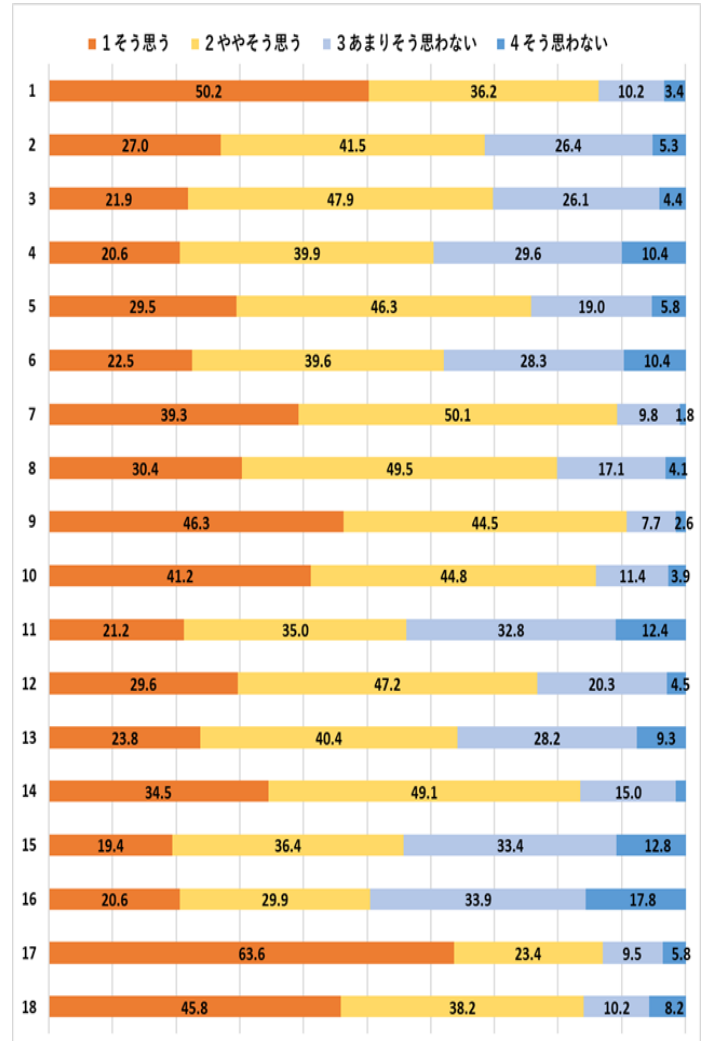


## 学校評価(保護者)アンケート結果から



12月中旬に全校生徒の保護者を対象に実施した学校評価アンケートから、調査結果と概要を紹介します。「そう思う」「ややそう思う」を肯定的な回答、「あまりそう思わない」「そう思わない」を否定的な回答として分析しています。質問項目は以下の18問です。

- 1 お子さんは、学校生活を楽しんでいると思いますか。
- 2 お子さんは、目標を持って学校生活を送っていると思いますか。
- 3 お子さんは、興味や関心をもって授業に取り組んでいると思いますか。
- 4 お子さんの学力は向上していると思いますか。
- 5 学校は、家庭への連絡や情報提供を積極的に行っていると思いますか。
- 6 お子さんの相談事や悩みごとなどについて、相談できる教職員がいますか。
- 7 お子さんは、人権尊重の精神に基づいて、他を思う生徒に育てていると思いますか。
- 8 本校の学校生活のきまりは、お子さんの生活をより良くするために適切な範囲にあるきまりだと思えますか。
- 9 学校は、新型コロナウイルス感染症の防止として、マスクの着用や三密の回避、換気などの新しい生活様式について、適切に対応していると思えますか。
- 10 お子さんと進路や悩み事、相談事について話し合っていますか。
- 11 お子さんは、家庭で計画的に学習していますか。
- 12 お子さんは、学校や地域での挨拶が良くできていると思えますか。
- 13 お子さんは、早寝・早起きなど基本的な生活習慣が身に付いていると思えますか。
- 14 お子さんは、規範意識がきちんと身に付いていると思えますか。
- 15 お子さんは、手伝いをよくしていますか。
- 16 お子さんは、自分の部屋など、家庭内で整理・整頓を自分でしていますか。
- 17 お子さんは、朝食をしっかり食べて学校に来ていますか。
- 18 部活動は、お子さんの成長にとって充実した活動になっていると思えますか。



7の「お子さんは、人権尊重の精神に基づいて、他を思う生徒に育てていると思いますか」の問いには、肯定的な回答が9割近くになりました。また、学年が上がるにつれて、肯定的な回答率が高くなっていました。毎週の道徳や総合的な学習の時間などを要に、学校教育全体で人権感覚を高められるように、これからも努力を重ねていきたいと考えています。

さらに、10の「お子さんと進路や悩み事、相談事について話し合っていますか」の問いには肯定的な回答率が86%になりました。困っていることを保護者に知ってもらえていることは、子どもにとって大きな安心感につながります。学校と保護者が、子どもを支える両輪となれるよう、これまで同様よろしく願います。

### 【2月の主な予定】

- 2月2日(水) 公立自己推薦入試
- 2月8日(火) 公立自己推薦合格発表
- 2月10日(木) 新入生周知会
- 2月14日(月) 学習の診断(全学年)
- 2月15日(火) 学年末テスト発表
- 2月22日(火) 学年末テスト(～25日)
- \*25日のテストは1・2年のみ

### 【3月の主な予定】

- 3月8日(火) 公立一般入試(3年)
- 3月9日(水) 公立一般面接・適性検査(3年)
- 3月11日(金) 卒業式  
(1・2年生は1校時終了後下校)
- 3月17(木)・18日(金) 五色台日帰り学習(1年)
- 3月17日(木) 公立一般合格発表
- 3月24日(木) 終業式・離任式

2月の部活終了時刻17:15    下校完了時刻 17:30